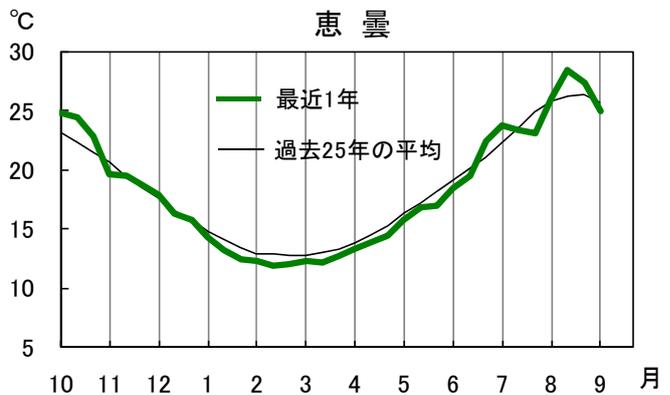
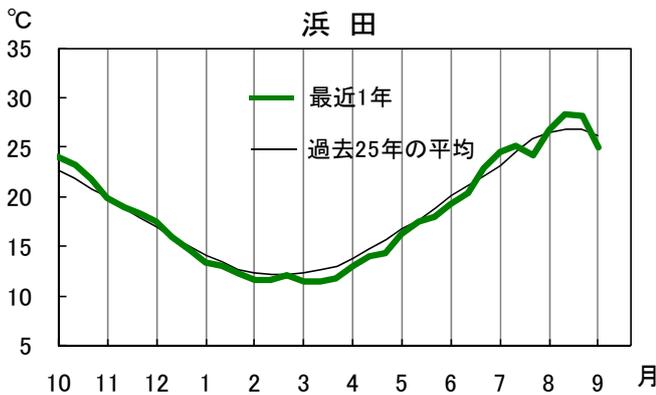




《8～9月の海況》

8月	月平均	平年差	評価
浜田	27.7℃	+1.1℃	やや高め
恵曇	27.2℃	+1.0℃	やや高め

沿岸定地水温は、浜田地区及び恵曇地区とも8月は、上旬は「平年並み」でしたが、中旬以降は「やや高め」で推移しました。9月に入ると上旬時点で、浜田地区では「やや低め」、恵曇地区では「平年並み」で経過しています。



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。マアジの漁獲量は平年の1.9倍、サバ類の漁獲量は平年の1.5倍で、ともに好調でした。一方、県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではマアジ、ブリ主体の漁況でした。マアジの漁獲量は平年並みでした。ブリの漁獲量は、4千トン近くあった前年は下回りましたが、平年の1.2倍と平年を上回る漁況でした。ただし、例年漁獲されるカタクチイワシとウルメイワシは平年を下回りました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）では8月に入りケンサキイカ主体（全体の93%）の漁況に移行し、1隻1航海あたりの漁獲量は78kgで平年を下回りました。西郷地区（属人5トン以上）でもケンサキイカ主体（全体のほぼ100%）の漁況となり、1隻1航海あたりの漁獲量は82kgで平年並みでした。

【パイかご漁業】

石見地区の総漁獲量は、稼動隻数が1隻減少した影響で平年を下回る13トンでした。漁獲対象であるエッチュウバイは銘柄「大」を主体に銘柄「中」、「小」の漁獲が多い状況です。エッチュウバイの漁獲量は8.8トンで前年の9割、平年の5割の水揚げに止まりましたが、1隻1航海あたりの漁獲量は673kgで、前年、平年並みの水揚げとなりました。

【シイラまき網漁業】

石見地区のシイラまき網漁業はシイラ主体の漁況でした。その漁獲量は86トンで、前年を上回りましたが、平年は下回りました。また、1隻1航海あたりの総漁獲量は1,059kgで、前年並みで平年を下回りました。なお、例年シイラとともに漁獲が期待されるヒラマサの漁獲量は平年のわずか1割で、今漁期中（6月～8月）は少ない来遊状況が続きました。

【定置網漁業】

石見地区ではソウダガツオ主体の漁況で、1統あたりの漁獲量ではソウダガツオが平年の4.4倍でしたが、マアジが平年の2割であったため、全統の総漁獲量は平年並みでした。出雲地区ではサワラ類、ブリ主体の漁況で、1統あたりの漁獲量ではケンサキイカが平年の3.7倍でしたが、サワラ類、ブリは平年並みであったもののマアジが平年の4割であったため、全統の総漁獲量は平年並みでした。隠岐地区ではケンサキイカ、サバ類、ブリ主体の漁況で、1統あたりの漁獲量ではケンサキイカが平年の2.6倍、サバ類が平年の3.6倍と好調でしたが、マアジが平年の5割、ブリが平年の4割であったため、全統の総漁獲量は平年並みでした。

【釣・縄】

石見地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は24kgで平年を上回りました。出雲地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は26kgで平年を上回りました。隠岐地区ではケンサキイカ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は24kgで平年並みでした。どの地区でもケンサキイカが好調で、3地区の総漁獲量は127トンで、平年の1.7倍でした。

【平成 23 年 8 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ、サバ類	408 トン	146%	153%	11.3 トン	146%	125%	○
	西郷	マアジ、ブリ	2,263 トン	64%	78%	23.3 トン	65%	72%	▲
	浦郷	マアジ、ブリ	1,796 トン	82%	80%	24.6 トン	82%	76%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	12 トン	6%	11%	78 kg	26%	34%	▲
	西郷	ケンサキイカ	21 トン	62%	89%	82 kg	93%	77%	○
バイかご	大田管内	エッチュウバイ	13 トン	113%	60%	868kg	115%	109%	○
シイラまき	和江	シイラ	23 トン	98%	34%	729 kg	82%	39%	▲
定置網 (大型)	浜田	ブリ、ケンサキイカ、マアジ	15 トン	48%	67%	704 kg	46%	65%	▲
	美保関	ブリ、サワラ類	64 トン	276%	64%	696 kg	235%	63%	▲
	浦郷	サバ類	19 トン	121%	151%	741 kg	96%	131%	○
釣り・縄	仁摩	ケンサキイカ、メダイ	21 トン	70%	116%	37 kg	81%	113%	○
	大社	ケンサキイカ	7 トン	68%	117%	19 kg	95%	140%	◎
	西郷	カサゴ・メバル類、ケンサキイカ、メダイ	13 トン	65%	90%	30 kg	78%	98%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは平年比を－とした